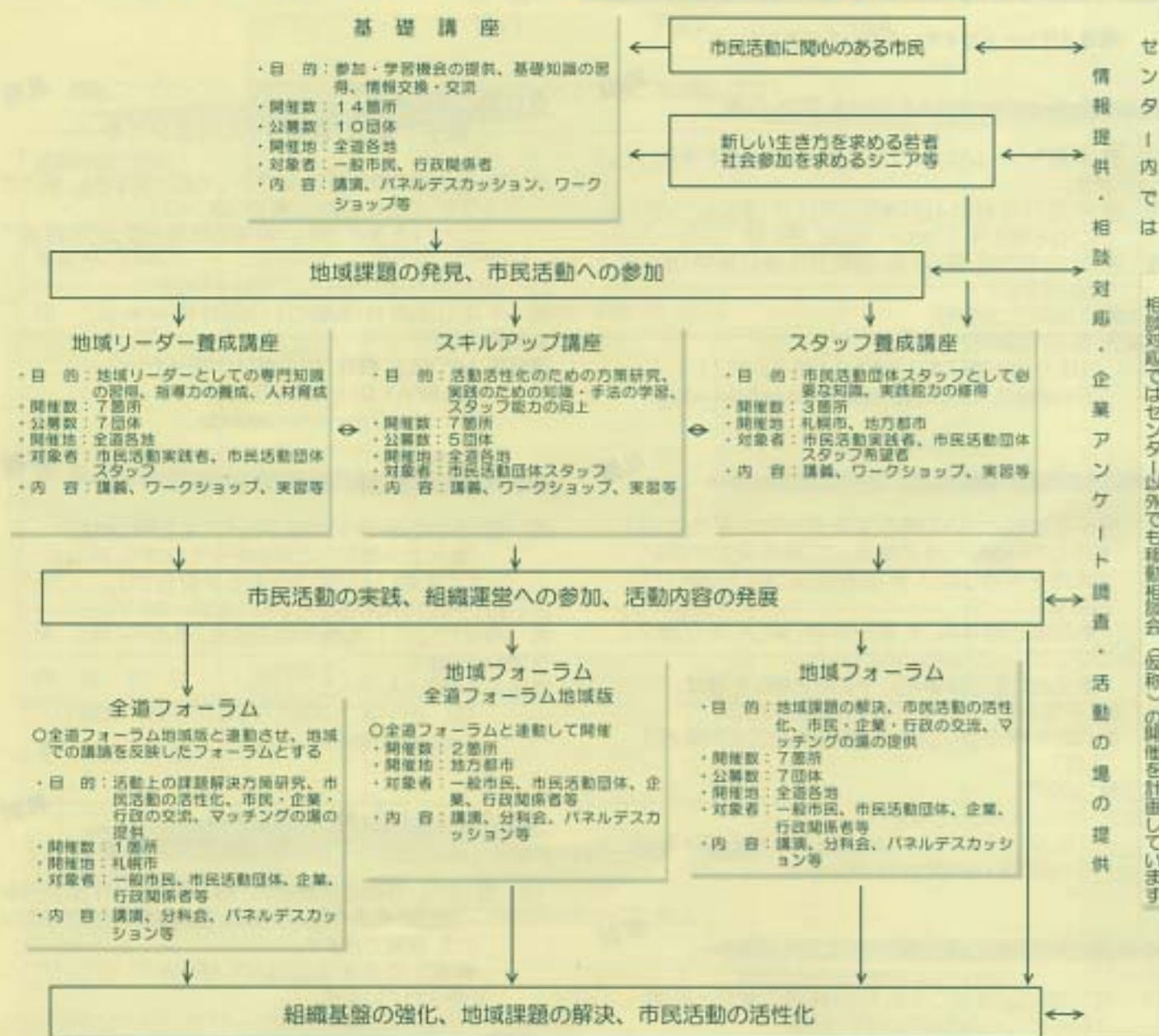


北海道を元気にするために頑張っています！
NPO法人
北海道ボランティアコーディネーター協会

NPOの輝き

「さっぽろごみゼロシンポジウム」
～進めよう！循環型社会づくり～

平成16年度の当センター各種講座の事業計画が決まりました。



- このうち、基礎講座、スキルアップ講座、地域リーダー養成講座、地域フォーラムの4講座では、当センターと一緒に企画運営する団体を公募します。
- 募集時期、企画提案の内容等、詳しいことはおいてこの情報誌や当センターのホームページなどでお知らせします。
- このほかの事業内容についても随時お知らせします。

北海道を元気にするために頑張っています！

NPO法人 北海道ボランティアコーディネーター協会

全道の社会福祉協議会や病院、学校などで活動するボランティアコーディネーターやコーディネーターに関心のある人達が、専門性を発揮し、資質向上と社会的地位の確立を目標に1999年1月31日に設立されました。

主な活動は、「研究セミナー等調査研究活動」「関係機関・団体とのネットワーク」「コーディネーター支援」「災害に対応する活動」等です。

「今後、力を入れて行きたいのは、子ども達のボランティア意識の育成です。子ども達が人らしく生きられるように、多くのボランティア学習、人間理解学習の場を提供していきたい」と、理事の船木さんは熱っぽく語ります。

「北海道を元気にするような活動を展開中ですが、そのためには、事務局機能の強化も考えています」と、どこまでもグローバルなお話でした。

また、会員も募集しております。



活動紹介
コーナー

(ボランティア体験学習事業風景)

NPO法人 北海道ボランティアコーディネーター協会
〒060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目
ジムテルビル
TEL&FAX 011-231-6856
URL : <http://hvca.ktolan.jp/>

情報スクランブル

(情報送付シートなどでいただいた情報です。)

◆Fun Wednesdays(ふぁん うえんずでー)◆

旭川

内 容:英語をゲームやクイズ等で楽しく話す場を提供しています。

日 時:平成16年4月14日(水)、5月12日(水)、6月9日(水)
いづれも昼の部 13:00~15:00、夜の部 18:00~20:00

場 所:旭川市役所 第3庁舎 国際交流課研修室(旭川市6条通10丁目)

参加費:1,500円(3回分)

連絡先:旭川市国際交流委員会

TEL:0166-25-7491 FAX: 0166-23-4924

E-mail:aic1_kokusai@city.asahikawa.hokkaido.jp

◆ボラナビの集い◆

札幌

内 容:「子どもについて語ろう」をテーマに、各地で活動をしているNPOをお招きして、情報交換や良いお話をお聞きたり、参加者からの質問も受け付けます。

参加する団体は、札幌BBS会、楽しいモグラクラブ、スペース・からこです。

参加される方は事前に予約をお願いします。

日 時:平成16年5月14日(金) 18:30~20:30

場 所:楽しいモグラクラブ(札幌市中央区北19条西3丁目)

参加費:300円

連絡先:NPO法人 ボラナビ倶楽部

TEL:011-242-2042 FAX: 011-242-2043

E-mail:volunavi@npchokkaido.jp

◆骨髄バンクを知る集い◆

札幌

内 容:お話とビデオによる、骨髄移植の実際と骨髄バンクのしくみの解説を行います。

日 時:平成16年4月22日(木) 18:30~20:00

場 所:札幌市社会福祉総合センター4階 視聴覚室
(札幌市中央区大通西19丁目)

入場料:無料

連絡先:北海道骨髄バンク推進協会

TEL:011-261-1311 FAX: 011-232-5734

◆白銀の森の中で、親子で楽しむ森林づくり、森遊びだ◆

札幌

内 容:かた雪の森の中で、雑木やつる類を間引きし、植えたシラカンバをすくすくと育てる森づくり。カンジキを履き、珍しい林業の道具を使っての森遊びだ!

日 時:平成16年4月4日(日)9:00~14:00

場 所:石山国有林(札幌市石山国有林1193林班)

参加費:500円

連絡先:NPO法人 森林(もり)遊びサポートセンター

TEL&FAX 011-592-1030

URL:<http://www.moriasobi.jp>

◆ビデオ上映会 海中を泳ぐ「トド」◆

札幌

内 容:水中で泳ぐトドの様子をビデオ上映します。潜水士の藤田氏の解説を交えながら、海の大動物、トドの生態を知る学習会です。

日 時:平成16年4月22日(木) 18:30~20:30

場 所:かでる2.7(札幌市中央区北2条西7丁目)

受講料:500円

連絡先:NPO法人 アース・ウインド

TEL: 011-207-8080 FAX: 011-207-8081

E-mail:staff@e-wind.org

◆自然をうたう日・韓・中 アジアの墨の文化交流展◆

札幌

内 容:中国・韓国の水墨画、絵画、グラフィック作品や日本全国の代表作品(水墨画、絵画)合わせて60点以上が、観覧できます。

作家と交流出来るという、類をみないプログラムも組まれています。

日 時:平成16年4月6日(火)~11日(日)10:00~19:00
(最終日のみ15:30まで)

場 所:ギャラリー大通美術館(札幌市中央区北1条西5丁目)

受講料:無料

連絡先:NPO法人 国際芸術文化協会

TEL&FAX 0142-76-2663

市民活動促進センター 相談員からのワンヒント(第12回)

NPOの輝き

98年にNPO法が施行され、5年を経過したいま、いろいろな思いを抱いて非常な勢いでNPOの設立が増えています。

私たちがNPOを設立して1年半が過ぎましたが、何故NPOだったのかを設立時に振り返ってみると、これからの人生を考えていた時に、「NPO起業科研修」が目に入り、NPOとは何も解らないまま起業科の文字だけを見て、受講することになり、2ヶ月もの研修を受ける事になりました。

研修の日が経つにつれ、NPOではビジネスにはならないと確信するようになり、研修終了直近になって、すでにNPOを設立して活躍されている先輩の話を聴いたり、実地研修に出かけたりして、実際に活動されている人々の思いと、目の輝きを見せられカルチャーショックを受けました。

私は長く民間企業に身を置き、高度成長期には企業戦士と言われ、企業論理での利益追求だけが目的だったような気がし、ビジネスとは利益を追求するものと身につけていた感覚がいっぺんに覆されました。

ひとりの力なんてほんの微々たるものだけれども、人の本当の生きがいとはいかに社会に係わることではないかと思うようになり、NPOを設立する事になったことを思い起こしております。

しかし、思いとは別に現実のNPOはビジネスとしては非常に厳しいことも十分に思い知らされています。

でも、それぞれの思いの中で、目の輝きを失わず、頑張りNPO!頑張りぞNPO!

NPOイベントレポート

「さっほろごみゼロシンポジウム」
～進めよう!循環型社会づくり～

平成16年3月13日(土)、「進めよう!循環型社会づくり」をテーマに札幌市、北海道新聞社主催の「さっほろごみゼロシンポジウム」が京王プラザホテル札幌で開催されました。

はじめに、作家の石川英輔氏から「大江戸リサイクル事情」をテーマに基調講演が行われ、膨大な化石燃料のエネルギーを使用し、ごみの捨て場のない世界をつくってしまった現状や無意識の中で循環していた江戸の農家の生活など、当時の具体的な事例について説明があり、文化の異なる先進国を真似るのではなく、日本独自のリサイクルを考えることが必要ではないかと提案されました。

その後のパネルディスカッションでは、「ごみ減量のしくみを考える」をテーマに中部リサイクル運動市民の会代表の萩原善之氏が市民によってごみの減量、リサイクル活動の成果をあげた名古屋市の事例について発表され、ごみを減らすには、しくみはもちろんだがやる気が一番大事であること、ごみの組成調査を徹底的に行い、市民・企業・行政の合意形成と市民による楽しく柔軟な取り組みによって目標の数値を上回るごみの減量に成功した事例について発表されました。また、札幌消費者協会の手塚直子氏は、消費者の立場からごみ減量の4R(Refuse, Reduce, Reuse, Recycle)の進め方について提案され、札幌市資源リサイクル事業協同組合副理事長の東龍夫氏は、回収業者、問屋、メーカー側の流れを、北海道大学大学院工学研究科教授の田中信壽氏からは、コストや減量、処理方法など全体でどう評価するかなど説明・提案されました。

最後に、コーディネーターの岡崎朱実氏からまとめとして、私たちが目指す姿を目標に掲げ、循環型社会のしくみづくりや誰かがやるのではなく、私たち自身が取り組むことで実現することを再確認し締めくくられました。



市民活動ミニミニ情報

今すぐできるちょっとボランティア(その5)

● TシャツでNPOを応援しよう!

久米繊維工業株式会社(東京)が、Tシャツを通してNPOを支援する事業を1月からスタートさせました。参加したNPOごとにTシャツの絵柄を公募して製造し、収益の一部がNPOに寄付されます。

インターネットサイト「T-shirts for NPO」から参加するNPOを募集しています。製品化したオリジナルTシャツを20枚購入することが参加の条件です。

参加登録したNPOの活動内容をサイトで紹介し、団体にふさわしい絵柄を一般から募集します。募集作品の中からNPOが自分たちの活動にふさわしい絵柄を選び製品化します。Tシャツはネットで販売されます。価格は一枚2500円と3000円の2種類です。一枚につき500円(販売価格が3000円の場合)がNPOに寄付され、デザイナーには100円がロイヤリティとして払われます。

「T-shirts for NPO」のホームページアドレスは、<http://npo-tnet/>

パート2

介護輸送サービス

NPOは事業許可不要

3月16日、国土交通省と厚生労働省は、NPO法人などの民間非営利団体が要介護者を病院などに移送する「介護輸送サービス」について、道路運送法に基づく事業許可がなくても認められることを決定し発表しました。

「介護輸送サービス」で介護報酬を得るには、タクシー事業の許可が必要とする国土交通省と、必要でないとする厚生労働省の見解が対立し、自治体の取り扱いもまちまちで、現場では混乱していました。

その混乱を解消するため、2月12日、国土交通省と厚生労働省は、「介護輸送に係る法的取り扱い」を「中間整理案」としてまとめて公表し、2月29日までパブリックコメントを募集しました。

それらを踏まえて、両省は、3月16日、「介護輸送に係る法的取り扱い」を発表しました。

詳しくは、国土交通省・厚生労働省のホームページ
<http://www.mlit.go.jp/pubcom/04/kekka/pubcom090212.html>
<http://www1.tcnnet.ne.jp/kaigokery/newpage2repo-tono5.htm>

助成金情報

「川に学ぶ」活動助成

対象事業：下記に該当する活動に対し、助成します。
 (1) 河川・海岸等水辺や、水辺に関わる地域をフィールドとして行う自然体験や環境教育等の活動
 (2) 河川・海岸等に関するセミナーやスクールの実施、情報の提供等の活動

助成金額：1件あたり10万円を上限

応募期限：平成16年4月23日(必着) (郵送で受け付ける)

連絡先：財団法人 リバースポコ整備センター
 TEL.03-3265-7121 FAX.03-3265-7456
 URL: <http://www.rfc.or.jp/>

自然環境活動助成

対象事業：北海道の自然環境の保全とその適正な利用に関する下記に該当する活動に対し、助成します。

○自然環境の保全とその適正な利用に関する活動や調査研究
 上記に基づいた普及啓発用の報告書又は成果物の発行

助成金額：1件あたり100万円を上限

応募期限：平成16年4月30日

連絡先：財団法人 前田一歩園財団
 TEL.0154-67-2207

URL: <http://www.ippon.or.jp/>

公益信託自然保護ボランティアファンド活動助成

対象事業：下記に該当する国立公園・国定公園の活動に対し、助成します。

(1) 自然公園の美化清掃活動
 (2) 稀少植物などの植生復元活動や野生動物の生育環境保全活動
 (3) 登山道、探勝路、園地などの利用環境の維持活動
 (4) 公園を訪れる利用者への自然解説などの自然ふれあいの推進

助成金額：1件あたり50万円を上限

応募期限：平成16年4月9日(必着)

連絡先：財団法人 自然公園財団 公益信託自然保護ボランティアファンド担当

TEL.03-3592-1171 FAX.03-3592-1175

URL: <http://www.bes.or.jp/>

おすすめBOOKS

市民参加を支えるコーディネーションの可能性

ボランティアコーディネーター白書 2003・2004年度

内容：本書は、ボランティアコーディネーター及びボランティアコーディネーションについて多角的に検証し、そのあり方を議論する場となることを願って創刊されました。構成は、ボランティアコーディネーションに関するトピック・テーマを取り上げた「特集論文」、各領域におけるボランティアコーディネーターの動向に関する「分野別レポート」、ボランティアコーディネーターに関する最近の「実態調査報告」、日本ボランティアコーディネーター協会会員から公募した「実践研究(報告)」等からなっています。特集では、「ボランティアと行政のつきあひ方を問い直す」と「シニア世代の参加を支えるボランティアコーディネーション」を取り上げています。数々の実践の中からの多くの発見があります。

著者：特定非営利活動法人

日本ボランティアコーディネーター協会

発行：社会福祉法人 大阪ボランティア協会

価格：2,625円(税込)



ボランティア・テキストシリーズ

市民活動団体のスタッフ、グループリーダーのための入門書

共感のマネジメント(改訂版)

内容：マネジメントの基礎知識から始まり、第二章マネジメントの実際では、明確化・具体化された「使命づくり」の必要性を説き、さらに、外部とのネットワークの構築や「後継者がいない」という問題を抱えた組織があまりにも多いということで「後継者の育成」を著者の経験から具体的に書かれています。第三章リーダーシップでは、「リーダーシップとは、やらせることではなく、やりたくなるようにメンバーに影響を及ぼしていくことである」。そのためには、「新・ビジョンを語る」とあります。また、図解での説明も楽しく、最終章では、チェックリストもあり、あなたの団体の健康度がチェックできます。

著者：松本修一

発行：社会福祉法人 大阪ボランティア協会

価格：1,260円(税込)



センターインフォメーション

第2回「しみセンまつり」を開催しました!

2月21日(土)、当センターで「市民活動の輪を広げよう」をテーマに「第2回しみセンまつり」(道立市民活動促進センターまつり)を開催し、ミニ講座や市民活動よろず相談会などによる交流イベントに、延べ111名が参加されました。

ミニ講座は、パワエティーに富んだ4団体の企画による講座で、初めにNPO法人 葬送を考える市民の会が「人生のハイパーイベントのための情報提供」をテーマにビデオ上映や環境を考えた旅立ちの衣装など葬送についてわかりやすく解説されていました。続いて、NPO法人 あいゆつと北海道によるパソコンを利用して電子メールに背景や画像、BGMを付けるなどの「楽しいメールの裏技講座」が行われました。

また、札幌建築鑑賞会は「札幌の歴史的建造物」をテーマにスライドの上映を行い、身近な文化遺産を味わい、魅力を再発見することができました。

最後にNPO法人 エスニコによる「異文化コミュニケーション入門」講座は、留学生のダイアン・ライリー氏を講師に迎えて、異文化に触れ、英語ができなくても楽しく、交流することができました。

平行して行った市民活動よろず相談会では、まちづくりやイベントなどの相談から財務会計、定款変更など専門的な相談まで、当センターの相談員とメンター(税理士・司法書士)がアドバイスしました。

参加いただいた皆様ありがとうございました。



(NPO法人 エスニコによるミニ講座「異文化コミュニケーション入門」の様子)

北海道立市民活動促進センターは、地域社会のニーズに的確に応えるようとするNPOなどの道内の市民活動を応援しているセンターです。

事務局ニュース

- 2月8日(日)・市民活動スキルアップ基礎講座(ボランティアマネジメント&ファシリテータースキルFTRトレーニング)を千歳市で開催
- 2月13日(金)・市民活動情報vol.12「おすすめBOOKS」で紹介した、葉の木共同作業所から、「100万円の寄付の申し出があった」と、うれしいお知らせが届く
- 2月27日(金)・市民活動基礎講座(介護保険制度の充実をめざして)を札幌市で開催
- 2月28日(土)・市民活動地域フォーラム(日高山脈主幹線状況)フォーラムを平取町で開催
・市民活動地域フォーラム(子育て支援でまちづくり)を白老町で開催
- 3月1日(月)・センター打合せ会議
- 3月6日(土)・市民活動地域フォーラム(新得・十勝の「宝物」)をNPOで守り育てる集いを新得町で開催
- 3月13日(土)・市民活動基礎講座(市民活動団体と行政の協働を進めるためには)を北見市で開催
- 3月19日(金)・市民活動基礎講座(飛び出せ!留萌びと)を留萌市で開催
- 3月21日(日)・決算相談会を帯広市で開催
- 3月22日(月)・センター打合せ会議
- 3月27日(土)・決算相談会を旭川市で開催

市民活動情報vol.15 2004.3
 発行 北海道立市民活動促進センター
 [財団法人北海道地域活動振興協会]
 〒060-0003
 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館西棟1階
 TEL.011-261-4440 FAX.011-251-6789
 E-mail:center@fureaizaidan.or.jp
 URL:<http://www.fureaizaidan.or.jp/npo.html>